

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相馬市立中村第二小学校（福島県）

【取組内容①】 個別最適な学びの学習ツールとしての一人一台端末を活用した学習内容の定着化

実践のポイント

学習課題について、タブレットPCによって調べたり、まとめたりする。

1. 授業の実際

6年社会科「世界に歩み出した日本」

ねらい：個に応じた調べ学習や問題作りを通して、児童一人一人の知識の定着を図る。

2. ICT機器活用

○「2つの戦争」について、調べるたことをクラウド型学習支援ソフトにまとめるといった、タブレットPCを学習ツールとして活用する。

○クラウド型学習支援ソフトを活用して、児童相互に問題作りとその問題を解き合う。



個に応じた学習ツールのタブレット



アプリを活用した問題づくり

3. ICT機器活用の効果

- 個に応じた学習ツールとしてタブレットを選択させ、課題について調べたり考えたりすることができた。
- クラウド型学習支援ソフトを活用して、問題を作ったり解答したりすることで、学習内容を定着させることができた。